

科目	学年・小学科	単位数
商業・情報処理	1年・情報システム科	2
教科書	実教出版「最新情報処理」新訂版	
副教材	全商情報処理検定2級・1級プログラミング・できるキッズ 子どもと学ぶScratchプログラミング入門	

## 1. 学習目標

ビジネスと情報の関わりを理解させ、ビジネスに関する情報を合理的に処理し、かつ主体的に活用させるための技術や能力を養うとともに、ハードウェアと周辺機器を理解し、オペレーティングシステムの機能を活用するための技術を習得させる。また、情報を扱う者としての責任やモラルを身に付けさせる。

## 2. 学習方法

- 授業：講義と情報機器を利用しながらで基本的な知識と技術を身につけさせます。  
配布プリントや国家試験問題等の問題を解くなど知識を定着させます。
- 予習：進んで事前に教科書に目を通し、理解できないところを確認をしていくことが望ましい。
- 復習：単元終了時に、課題プリントを課すので、家庭学習でも授業内容を復習すること。
- 課題：単元終了時や長期休業など、適宜復習用の課題を課す。

## 3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを旨として主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。
② 思考・判断・表現	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを旨として思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
③ 技能	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
④ 知識・理解	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
情報処理	1学年・情報システム科	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法		
			①	②	③	④	⑤				
前期中間	1. 情報の活用と情報モラル	ビジネスと情報						<p>a. ビジネスにおける情報の役割に関心を持ち、科目「情報処理」を学ぶことによって積極的に情報を活用するための知識・技術を習得しようとする意欲を示す。</p> <p>b. 情報化社会の一員として、モラルやマナーに関する正しい知識と判断に基づいた行動ができる</p> <p>d. コンピュータによる数値や文字の取り扱いやコンピュータ本体や代表的な周辺装置の概要を理解している。</p> <p>c. 機器やソフトを適切に使用し、例題や練習問題をうまく仕上げることができる</p> <p>b. 情報通信ネットワークの概要を理解し、その利点を活用したさまざまな活用方法があることに気付くとともに、自ら積極的に活用する方法を考察することができる。また、情報化社会の危険性について、正しい理解に基づく適切な対策や、積極的にこれを克服する方策の考察ができる。d. 情報通信ネットワークやセキュリティに関する基本的な用語の意味を理解している。</p>	授業観察 小テスト 演習 提出物 査査 自己評価		
		情報モラル	○	○		○					
		ハードウェアとソフトウェア									
	4. ビジネス文書の作成	ビジネス文書と表現					○				
		基本文書の作成									
	2. 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	情報通信ネットワークの概要									
ビジネス情報の検索と収集			○			○					
ビジネス情報の受信と発信											
セキュリティ管理の基礎											
前期末	3. ビジネス情報の処理と分析	基本的な表の作成						<p>b. 取り出されたデータの意味を理解し、これを判断に役立てることができる</p> <p>c. 表計算ソフトウェアを活用した効率的な分析技法を身につけ、作成することができる。また、特定のキーを基準にデータの整列ができ、フィルタなどを利用したデータの検索や抽出ができる。</p> <p>d. 表の構成要素や整列、検索など操作に必要な用語とその意味を理解している。</p>			
		関数を利用した表の作成					○			○	○
		グラフの作成									
		情報の整列・検索・抽出									
	検定対策	演習	○				○				
後期中間	3. ビジネス情報の処理と分析	ビジネスと統計					○				
	1. 情報の活用と情報モラル	ハードウェアとソフトウェア	○				○		<p>a. コンピュータのハードウェアやソフトウェアに興味を持ち、その仕組みを積極的に学ぼうとする。</p> <p>d. コンピュータ本体や代表的な周辺装置の概要を理解している。</p>		
		情報通信ネットワークの概要						○	○	<p>b. 情報通信ネットワークの概要を理解し、その利点を活用したさまざまな活用方法があることに気付くとともに、自ら積極的に活用する方法を考察することができる。また、情報化社会の危険性について、正しい理解に基づく適切な対策や、積極的にこれを克服する方策の考察ができる。d. 情報通信ネットワークやセキュリティに関する基本的な用語の意味を理解している。</p>	
	2. 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	セキュリティ管理の基礎		○				○			
後期末	検定対策	演習					○		d. 情報の基礎理論やハードウェア、ネットワーク、セキュリティ等について理解している。		
		3. ビジネス情報の処理と分析	関数を利用した表の作成						○	c. 表計算ソフトウェアを活用した効率的な分析技法を身につけ、作成することができる。	
		グラフの作成				○	○		d. 統計の目的や活用方法を理解している。		
		ビジネスと統計									
	4. ビジネス文書の作成	図形と画像の利用					○	○		c. 機器やソフトを適切に使用し、例題や練習問題をうまく仕上げることができる。	
		応用文書の作成								d. 罫線表とセルの考え方、計算式、関数、表示形式の入力方法を理解している。	
5. プレゼンテーション	プレゼンテーションの技法								a. ストーリーの作成や資料の作成、発表などの実習に積極的に取り組んでいる。		
	ビジネスとプレゼンテーション	○	○						b. 目的に応じたストーリーの展開や資料の作成、話し方などについて考察し、効果的なプレゼンテーションを実施することができる。		